啓林館　Revised ELEMENT English CommunicationⅢ(コⅢ334)　観点一覧

◆内容の取扱い

1. 言語材料は，使用頻度・活用範囲・一般的な配列順などを総合的に判断して配列し，教師にとって教えやすく，生徒にとって学びやすい教科書になっている。

2. 使用語彙や表現などについては，広く使われているものを使用している。

3. 自国や他国の文化に触れ，新しい発見につながるような題材が厳選してあり，生徒の知的好奇心を駆り立て，学力向上や精神的な成長に寄与できるようになっている。

4. 説明文・論説文・物語など，さまざまな文体や使用場面に応じた英文が用意してある。

5. 聞いたり読んだりした内容を理解し，それをもとに自分の考えを述べたり，文章にまとめたりする機会が設定してある。

◆単元の構成・配列および分量

1. 本課を10課，読み物(Pleasure Reading)を1課設けている。本課は題材のジャンルごとに４ユニットで構成され，各ユニットは長さの異なる２～３タイプの英文で構成されている。

2. 各ユニットの最初には，英文の読解と自己発信活動に役立つスキルを学ぶためのDiscourse Navigatorを配置した。

3. 各課の扉ページは写真・図・導入リスニング・英問・Can-Doリストで構成され，英語による導入を行いやすく工夫してある。

4. 本文は500～1,100語程度の標準的な英語で構成されている。本文を見開きで収録することで，全体のパラグラフ構成を見通しながら読み進められる形式にしてある。また，新出語欄をなくすことで，未知語に出会っても文脈から推測しながら読み解く練習ができるようにしてある。

5. 課末課題は①内容理解(Comprehension) ②リテリング活動(Story Retelling) ③自己表現活動(Self Expression)に分けて配列され，目的に応じて使用できるようにしてある。

6. 各ユニットの最後には，テーマに沿って「聞く」「話す」「書く」活動を行うDeepen Your Thoughts!を配置した。

7. 巻末に，各課の題材に関連する200～250語程度の英文と英問（Speed Reading），新出単語の英英定義（New Words & Phrases），本課の背景解説資料（Graphic Encyclopedia）を掲載し，速読の演習や新出語の意味の確認，より深い題材理解ができるようにしてある。